

エスディージーズ  
SDGsってなんだろう？  
「海」を切り口に楽しく学ぶ  
出張授業開催



エスディージーズ  
SDGs (Sustainable Development Goals) は2015年9月の国連サミットで採択された、2030年までによりよい世界をつくるための持続可能な開発目標です。小学校でも来月4月以降、他者を尊重し、ほかの国の人たちと協力して「持続可能な社会の創り手」になってもらうための教育がスタートします。  
こども海の学習プログラム普及プロジェクト実行委員会では、「海」を切り口にSDGsを楽しく学ぶ出張授業を全国の小学校で開催していきます。第1回と第2回目の授業の様子を紹介します。

子どもと海のSDGs  
SDGsってなんだろう



「子どもにも世界を変えられる力があります。世界でその国でも、社会問題について発言し、行動している少年少女がいます。大切なことは『気づき』です。では次に、これからの世の中で克服すべき問題について考え、カードに記入してください。」



「今日のテーマは『克服』です。克服というのは、困難を努力して乗り越えることです。私たち人間は、これまでさまざまな問題を克服してきました。縄文時代、環境の変化にもなつて大型動物が減つてしまひ、食糧危機になりました。そこで縄文人は、土器を発明して、土器でかいた木の葉やたぐさんの目を煮て、食糧危機を克服したのです。」

「これから克服すべき問題はなんだろう？」  
手島先生はみんなに呼びかけます。「では、人間は長い歴史の間で、今までにどんなことを克服してきたのか考えてください。児童たちがいつせいにシートに書き込みます。「災害」「病気」「夜の闇」「住まい」「飲み水」などがあがっているようです。」

「縄文時代から人間は問題を克服してきました。1時間目の講師は、日本ESD学会副会長の手島利夫先生です。」



「新しい『気づき』が物事を変える力になります」  
児童たちはさらに深く考えます。周りの友人と相談してカードを埋めていきます。「戦争」「温暖化」「海洋汚染」「貧困」「いじめ」「テロ」「虐待」「差別」「犯罪」「少子高齢化」いろいろな問題が浮かび上がってきましたね。」



「国際連合が2030年までに、より良い世界をつくるための目標を17にまとめました。これをSDGsといいます。みなさんが書いてくれたカードは、SDGsの17の目標のどこに当てはまるでしょうか。」



「カードに『プラスチックごみ』と書いた人はパネルの何番にカードを貼つたらいいか迷ったのではないのでしょうか。プラスチックごみの問題は14番目の目標の『海の豊かさを守ろう』でも、12番目の目標の『つくる責任つかう責任』でも、迷っている子もいるようです。」

「『すべての問題はつながっている』  
あつという間にパネルがカードで埋まっています。でも、迷っている子もいるようです。」



「サンゴ礁は生物多様性の宝庫です。海の幸を育て、天然の防波堤として島を守ってくれます。しかし、白化の影響によって、生きたサンゴが減少しつつあるのです。」



「サンゴ礁は生物多様性の宝庫です。海の幸を育て、天然の防波堤として島を守ってくれます。しかし、白化の影響によって、生きたサンゴが減少しつつあるのです。」

「サンゴ礁は生物多様性の宝庫です。海の幸を育て、天然の防波堤として島を守ってくれます。しかし、白化の影響によって、生きたサンゴが減少しつつあるのです。」

「サンゴ礁は生物多様性の宝庫です。海の幸を育て、天然の防波堤として島を守ってくれます。しかし、白化の影響によって、生きたサンゴが減少しつつあるのです。」

「サンゴ礁は生物多様性の宝庫です。海の幸を育て、天然の防波堤として島を守ってくれます。しかし、白化の影響によって、生きたサンゴが減少しつつあるのです。」

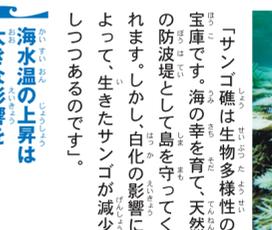


「気温や海水温の上昇は強い台風の原因になります。温暖化は私たちの暮らしにとても大きな影響があり、解決すべき問題であることを知ってほしいと思います。」

「SDGsの問題を考えたと、授業の最後に手島先生がみんなに呼びかけました。」



「気温や海水温の上昇は強い台風の原因になります。温暖化は私たちの暮らしにとても大きな影響があり、解決すべき問題であることを知ってほしいと思います。」



「SDGsの問題を考えたと、授業の最後に手島先生がみんなに呼びかけました。」

「SDGsの問題を考えたと、授業の最後に手島先生がみんなに呼びかけました。」

「SDGsの問題を考えたと、授業の最後に手島先生がみんなに呼びかけました。」



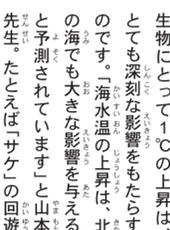
「SDGsの問題を考えたと、授業の最後に手島先生がみんなに呼びかけました。」

「SDGsの問題を考えたと、授業の最後に手島先生がみんなに呼びかけました。」



「SDGsの問題を考えたと、授業の最後に手島先生がみんなに呼びかけました。」

「SDGsの問題を考えたと、授業の最後に手島先生がみんなに呼びかけました。」



「SDGsの問題を考えたと、授業の最後に手島先生がみんなに呼びかけました。」

「SDGsの問題を考えたと、授業の最後に手島先生がみんなに呼びかけました。」

千葉県 八千代市立大和田南小学校



授業を聞いた小学生の感想

エスディージーズ  
SDGsでは教育問題について関心をもちました。また海の問題では、サケが将来いなくなるかもしれないという話を聞いて、地球を守っていくために何をしなければならぬか、調べてみようと思いました。  
【5年生女子】  
沖繩のサンゴが白化現象でなくなつたことがショックでした。また海水温の上昇がもたらす影響について知ることができ、自分たちが普段の生活でできることから始めたいと思いました。  
【5年生男子】  
人間にはいろいろな問題を解決してきた歴史があり、今も大きな問題があることを考える機会になりました。特に海水温の上昇は深刻な問題です。リサイクルを心がけて、地球にやさしい生活をしたい。  
【6年生女子】  
サケが食べられなくなるのはさみしいなと思いました。海はプラごみのほか多くの問題を抱えているので、プラごみを減らすことをはじめみんなが少しずつ解決のための努力をしなければいけません。  
【6年生男子】

東京都 世田谷区立赤堤小学校



このプログラムは、海と日本PROJECTの一環で実施しています。